

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年5月10日

### 2005年5月8日概況：

5月8日に終わる週の前半は好天であったが、週後半になり寒気が流れ込み低温となり、降雨があった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.9日（前週：6.0日）であった。平均気温は各地で平年を3~4度F下回った。1週間の平均的な降水量は0.99~1.50インチであった。土壌水分はTopsoil並びにSubsoil共に改善し、昨年並びに5年平均より良好となった。

春小麦の播種は週前半の好天により順調なペースで進んだ。HRSは76%の圃場にて播種され、Durum小麦は46%が播種された。HRSの播種は昨年と並んだ。HRS並びにDurum共に5年平均より早い進捗であった。出芽は気温が低かった為、多少遅れ気味と報告された。

### 小麦生育状況：2005年5月8日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Planted (%)	46	33	44	25
Emerged (%)	15	6	18	9
HRS Wheat				
Planted (%)	76	53	75	50
Emerged (%)	32	12	36	22

### 土壌水分：2005年5月8日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	4	9	14	5
Short (%)	13	28	39	16
Adequate (%)	78	61	46	67
Surplus (%)	5	2	1	12
Subsoil				
Very short (%)	12	12	14	6
Short (%)	17	24	33	20
Adequate (%)	67	61	52	65
Surplus (%)	4	3	1	9

2005年3月31日の農務省の予想では、ノースダコタ州の2005年産HRSの作付面積予想は、6,900,000エーカーであり、昨年(6,200,000エーカー)の11%増であった。Durumの作付予想は1,850,000エーカー(昨年：1,750,000エーカー)であった。

全米の春小麦の作付けは、昨年比で増加傾向である。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)